

徳島県立阿南支援学校ひわさ分校
令和6年度 第1回学校運営協議会 会議録

1. 日 時	令和6年6月13日(木) 14:00～16:20 <家庭科室>
2. 授業参観	<p>高等部の授業見学(園芸等)</p> <p>就業体験の説明(進路指導主事) (委員からの質問) ・過去にIT関連の就労はあったか? →過去の卒業生にはいない。在宅での実習も今年度が初の試み。</p>
3. 会次第	資料の確認等
1) 開会	
2) 学校長挨拶	<p>(西校長より)</p> <p>今年度は学部長が二人とも変わったり、若手教員が増えたりと環境の変化はあったが、どの教員も自分の責任を果たし日々頑張っている。不登校生徒の対応という難しい支援も担任をはじめ、学部、学校全体で向き合い支援を行っている。今回の協議会でのご意見を参考にしていきたいのでよろしくお願いします。</p>
3) 自己紹介	
4) 会長・副会長の選任	
5) 会長挨拶	皆さんの意見を聞いて共に頑張っていきたい。
6) 協 議	<p>①徳島県立阿南支援学校ひわさ分校運営協議会要綱の改訂箇所について(教頭) 生徒→児童生徒に改訂</p> <p>②ひわさ分校の取り組みについて(教頭) 【昨年度の活動の振り返り】</p> <p>【今年度の重点課題について】 学校運営方針についての説明→発信と啓発</p> <p>【各学部・各課の重点目標及び活動計画について】</p> <p>③ひわさ分校の課題について(教頭) 昨年度の協議会で出た意見に対して取り組んだことの評価を行った。</p> <p>④各委員からのご意見 ・高等部の生徒が、町の防災研修で東北の被災地を訪問した様子やそこでの出来事などを発表する場を設けてほしい。 ・相談員の立場から言わせてもらうと、特別支援のニーズはたくさんある。しかし、保護者の立場からするとまだまだ特別支援学校の敷居が高いように感じる。 ・適切な支援を小さいうちから行うことが重要。 ・交流の機会にもっと授業のアピールを行ってほしい。資料だけでは心に届きにくいので</p>

で、言葉を尽くして丁寧に行う。

・保育所や幼稚園などの先生が特別支援学校の情報をもっと知っていると、広報としてとても強い。保護者と信頼関係があり、直接関わっているのも。

・各学校のメリット、デメリットを伝える機会が少ない。

・中学校には、支援を必要としている生徒はたくさんいるが、特別支援学校が選択肢にあまり入っていない。保護者は、みんなと一緒にのところに行かしたい気持ち強い。

・スクールソーシャルワーカーとの連携が必要。研修会を開いたときに案内を出す。

・HPでアップしたことをプリントアウトして校内に掲示する。

・地元の中学校に通わせていたが、もっと早く支援が受けられる場所に行かせたかった。

・小中学校では、困っている児童生徒がたくさんいるし、先生も困っている。

・学校案内を大量に発行し、各機関に配る。予算もかかるのでそこが問題。

・委員の方が工場見学に来てくれたので、その感想をこの場で話してほしい。

・会社見学に保護者と一緒に来てもらったのが良かった。

・就業体験に関わっている先生が先に見学を行い、その様子を学校で伝えてほしい。

・作業能力に問題ない生徒は十分働ける。

・鶏の処理のイメージが強いが、仕事割合としては四分の一程度。鶏の処理のイメージが強くなりすぎると、働き手の減少につながりかねない。

・掃除が大事。仕事内容として大切。

・会社がもにす認定された。

・広報に関しては、子育てをしている世代を対象とするなら、HPよりインスタやTikTokの方が効果があると思う。

・HPと同じ内容でいいのでSNSを活用した方が良い。

・保護者として、専門家に相談をしてもオブラートに包まれ過ぎていてわかりづらい。担任の先生の説明でようやく理解できた。

・保護者が相談できる回数を増やしてほしい。支援学校のお知らせ文書などを保育所や幼稚園などで配布してほしい。

(終わりに)

学校として、上がった意見を職員と共有し実現していきたい。

(連絡事項)

次回の日程について

第2回 令和6年11月22日(金)

第3回 令和7年2月20日(木)